

## 第70回 日本PTA全国研究大会 山形大会 報告書

富士市PTA連絡協議会

副会長 茅原 由美

副会長3年目となりますが、新型コロナウイルスの影響により、1、2年目は縮小やリモート開催となりました。3年目となる今回、山形大会に初めて参加させていただきました。

『人とひとのつながりを体感しよう』という大会のスローガンのもと、開催されました。コロナ禍により変化した世の中、人とひととのコミュニケーションも希薄にならざるを得ない環境が続いています。今回参加して「つながり」の大切さを改めて実感しました。

1日目の分科会では、

【特別第2分科会 文化科学省協力 メディア・リテラシー育成における学校教育と家庭協力の役割】 ～子供たちへのメディア・リテラシー協力を考える～  
に参加させていただきました。

2020年代これからの教育にはITCの活用は不可欠です。OECDのデータでは、日本はICT活用率がほかの国に比較して低いとのこと。コロナ禍において、日本もICT環境が整ってきていると思っていたのですが、GIGAスクール構想でメディア・リテラシー（情報活用能力）が不十分。それを子供たちに育てていくために、私たち保護者は、教師は何をしていくことが大事なのか。とても勉強になる講演を聞かせていただきました。

印象に残ったのが、フェイクニュースなどを見抜く力。

英国でエイプリルフールに実際放送された、「スイスでスパゲティが豊作」という映像を見せていただきました。それはスパゲティが木で育つという話、会場もざわざわと…

「何を言っているのだろう」と思う人もいれば、「スパゲティは木からできるのか」と思う人、など反応は様々なのかもしれません。大人は惑わされる人は少ないと思いますが、子供は信じてしまうかもしれません。放送後、「どこでその木は買えるの？」などの反応もあったようです。

色々な情報であふれている世の中、それをそのまま受け止めるのではなく、真相は？出所は？情報を活用する力、子供たちへメディア・リテラシーを育てていく事の大事さを痛感しました。

これからの子供たちのために、GIGAスクール構想、ICTの活用や環境整備の在り方、とても大事な課題だと思いました。

2日目の全体会では、はじめに、「朝倉さや」の歌唱や、「良絃会」の伴奏、「又新連」の徳内ばやし、「四面楚歌」によるパフォーマンス歓迎アトラクション。圧巻で、山形の文化と熱気を感じることができました。主催者さんたちの熱い想いも伝わってきました。

#### 【記念講演・演奏会】

講演では飯森範親さんによるご自身の幼少期の話や、軽快なトークで、会場を盛り上げてくださいました。

続いての山形交響楽団による演奏会では、オーケストラの中心である指揮者は「一本のタクト」となり、演奏者一人一人、聴衆者一人一人を見えない糸で繋ぎ、紡いでゆく。音楽を通して、会場全体で「人とひととのつながり」を体験できました。

PTA活動においても、子供たちのために、やるべき事、していきたい事の具現化をしていくには、見えない「一本のタクト」が大事だなと感じさせられました。

「つながり」がテーマの今大会。今後のPTA活動に活かしていきたいと思います。